

会員の皆さんにバスの感想をお聞きしました。



の便がデマンド便なので、毎日予約するのが面倒です」という感想でした。バスのデザインについては「かわいいけどちょっと派手だよね」と二人は顔を見合わせ、笑っていました。

太田中学校3年生、星野哲也君

「朝は村松回転場まで自転車で行くか、車で送ってもらいます。冬になると自転車は無理かな。毎朝友だちと一緒にバスに乗って学校に通っています」。現在、朝の便は通学に使う子供たちや、畑に行く地域の方で満車になるため、定刻前に小学校まで子供たちを乗せて一往復しています。「朝の通学時間は小学生も中学生も同じです。冬になって、バスが一台しか出なくなったら、みんなで乗ってこられるように、小さな小学生たちをまとめていきます。大丈夫」

種芋原地区の

川上奈津美さん(高校2年生)、坂牧 美春さん(高校3年生)

「弟もクローバーバスで通学しています。バスがなければ原付で通うようになるか、親に送ってもらうけど、今はクローバーバスがあるので通学が便利です」。運転手さんが地域の人で顔も覚えただけ、安心して乗れます。ただ帰り

クローバーバスに関する諸行事

中越防災フロンティア 第3回通常総会、クローバーバス試乗会

6月28日(日)、山古志支所3階会議室にて、中越防災フロンティア第3回通常総会を開催しました。当日は、長島忠美衆議院議員よりご挨拶をいただいた後、事務局より平成19年度の事業報告、決算報告に引き続き、平成20年度の事業計画、予算案についてご報告しました。また、今年7月より運行開始したクローバーバスにつきましても、会員の皆さまから承認をいただきました。総会に引き続き行われた「クローバーバス試乗会」では、「山古志子供太鼓会」の皆さまの



演奏のあと、会員となっていたいたいた住民のみなさま、森民夫長岡市長をはじめとする来賓のみなさまにクローバーバスをお披露目し、ご試乗いただきました。7月1日の運行開始に向け、地域全体で盛りあげられました。



「クローバーバス」乗車二万人を達成!

7月から運行を開始した「クローバーバス」は、おかげさまで10月

と、頼もしい返事をしてくれました。

山古志会館診療所へ お越しの皆さん

小松倉にお住まいのおかあさんは、「バスがなかったら診療所にこれないから助かってます。町へ買い物に行くときは家族が連れて行ってくれるけど、昼間に診療所へ来るときはいつもバス」。バスの乗り降りは大変ですがとお尋ねしたら、「歩けるうちは大丈夫。まだ、足腰がたつから、自分で乗ったり降りたりできます」と心強



いお言葉をいただきました。

木籠にお住まいのおとうさんは「車のらんねえし、送ってくれるもんはいねし、バスがあると便利で助かってます。バスがなかったら診療所にこれない。足がよわってきたから歩いてくるのは無理だ。バスだったら家のすぐ近くまで送ってくれるし、迎えに来てくれるからいいね」。バスのデザインについては「いや、おらみたいな年寄りには覚えやすくていいね。いや、本当に助かる」と、嬉しいお言葉をいただきました。

また、池谷にお住まいのおかあさんは、「今はまだ、車に乗られるからいいけど、もう2、3年すれば私もバスに乗るようになる。毎朝家の前を通るバスを見るのが今の張り合い。今度、ためしに乗ってみようかね」と話していました。バス運行に関する感謝や労いのお言葉をいただいている一方で、まだまだ不便な面も多くあります。8月に行ったアンケートや、皆さんから直接お寄せいただいたご意見をもとに、今後も地域の足として、充実に努めてまいります。

9日に乗車二万人を達成しました。一人目は村松回転場発山古志支所行きにご乗車された、種芋原にお住まいのおとうさんと、当日は、山古志支所到着後、花束と記念品として、蓬平温泉の三旅館に協賛いただき、ペア宿泊券を贈呈しました。



企画バス第1弾!

8月3日(日)、山古志闘牛場にて開催された「牛の角突き」を遠方から見学にこられる方のために、「山古志 越後牛の角突き会場行き無料送迎バス」を運行しました。これは、クローバーバスを使って山古志・太田地区の地域活性化を支援するとともにクローバーバスの応援団を増やしていくために考えられた、企画バスの第一弾です。初回は、募集25人のところ、30

